

# 通信・外部接続

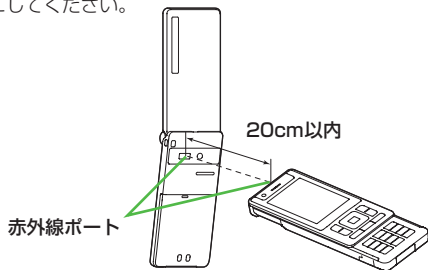
<b>赤外線通信</b> .....	<b>9-2</b>
赤外線通信をご利用になる前に.....	9-2
データを1件送受信する.....	9-3
電話帳データを全件送受信する.....	9-4
<b>ソフトバンクユーティリティソフト</b> .....	<b>9-5</b>
<b>USB</b> .....	<b>9-5</b>
USBケーブルを使ってデータ転送をする.....	9-5
USBケーブルを使ってデータ通信をする.....	9-5
USBを使って充電する.....	9-6
<b>簡易位置情報</b> .....	<b>9-6</b>
測位機能をロックする.....	9-6
位置情報を自動的に送信する.....	9-6

## 赤外線通信

### 赤外線通信をご利用になる前に

電話帳やスケジュール、メール、ブックマーク、撮影した画像などのデータを他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC 1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると、通信失敗の原因になることがあります。汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布でふいてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 通信を中断する操作を行ったとき、実際に中断が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機と赤外線通信対応機器の赤外線ポートを20cm以内に近づけてください。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにし、データの送受信が終わるまで動かさないでください。また、間に物を置かないようにしてください。



## 赤外線通信で送受信できるデータ

データ \ 送受信条件	1件	全件
電話帳（オーナー情報）※1※2	○	最大1000件
スケジュール※1※3	○	×
メール	○	×
データフォルダ内のファイル	○	×
ブックマーク	○	×

○：送受信できます。 ×：送受信できません。

※1 音やイルミネーション、画像などの設定内容は送受信できません。

※2 1件送受信の場合、グループやシークレットなどの設定内容も送受信できません。

※3 開始日時のないスケジュールは受信できません。本機に登録できる日時（☞P.11-3）の範囲外のスケジュールは、受信しても登録されません。

### お知らせ

- 受信したデータの内容によっては、それぞれの条件以外にも登録できないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して登録することがあります。
- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧☞P.16-20）
- カメラで撮影した画像を他社携帯電話やパソコンなどで再生した場合、90度回転して表示される場合があります。

## データを1件送受信する

- 赤外線通信で送受信できるデータについて（☞P.9-2）

## データを送信する

- 1 送信するデータを選んで☑[メニュー]→各項目の操作を行う（下記参照）

送信するデータ	操作・補足
電話帳/ オーナー情報/ データフォルダ 内のデータ	> 送信→赤外線送信
メール/ スケジュール/ ブックマーク	> 赤外線送信
受信ボックス内 のSMS	> 外部機器送信→赤外線送信

データの送信を開始します。


### お知らせ

- オーナー情報は、**メインメニューから赤外線▶オーナー情報送信**からでも送信できます。

## データを受信する

### メインメニューから赤外線▶赤外線ON/OFF

### 1 ON

待受画面に戻り、「」が表示されて待機状態になります。  
3分以内に送信側からデータを送信してください。

### 2 送信側から受信要求を受けると、データ受信の確認画面が表示される

ファイル名とサイズが表示されます。

### 3 受信を開始するには→各項目の操作を行う（下記参照）

受信するデータ	操作・補足
データフォルダ 内に登録される データ	> 本体/メモリーカード
電話帳/ スケジュール	> ☑[保存]
メール	メールフォルダに自動的に保存されます。
ブックマーク	ブックマークリストに自動的に保存されます。

### お知らせ

- 待受画面以外ではデータの受信はできません。
- 待機状態で3分以内にデータを受信しなかったり、本機の電源を切ると、待機状態が解除されます。

## 電話帳データを全件送受信する

### 全件送受信時のご注意

- 全件受信すると、それまで登録していたデータはシークレットデータも含めすべて削除され、受信データで上書きされます。
- 全件送信すると、オーナー情報のデータも一緒に送信され、受信側のオーナー情報は自局番号以外すべて上書きされます。

### 認証番号について

認証番号は赤外線通信で全件送受信を行う際に任意に設定する4桁の数字です。受信側／送信側とも同じ認証番号を入力する必要があります。

## データを送信する

### メインメニューから 赤外線▶電話帳全件送信

1  → 操作用暗証番号を入力

2 認証番号を入力

相手側で同じ認証番号を入力すると、データの送信を開始します。


#### お知らせ

- **メインメニューから 電話機能▶メモリ管理▶赤外線全件送信**からでも送信できます。



## データを受信する

### メインメニューから 赤外線▶赤外線ON/OFF

1 ON

待受画面に戻り、「」が表示されて待機状態になります。3分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から受信要求を受けると、データ受信の確認画面が表示される

3 接続を許可するには  → 

4 操作用暗証番号を入力

5 認証番号を入力

データの受信を開始します。完了するとデータを自動的に保存します。

## ソフトバンクユーティリティソフト

ソフトバンクユーティリティソフトを利用すると、ソフトバンク携帯電話の電話帳、カレンダー、メール、ブックマーク、データフォルダなどをパソコンで閲覧／編集することができます。

- ソフトバンクユーティリティソフトの詳細、およびダウンロードについては、下記のURLなどで、ご確認ください。  
<http://www.softbank.jp/mb/r/sbu/>

### お知らせ

- ソフトバンクユーティリティソフトをご利用になるには、USBケーブル（オプション品）が必要になります。
- データフォルダのS!アプリ／デコレメールテンプレート／その他ファイルはバックアップできません。
- 著作権保護ファイルはバックアップできない場合があります。
- 本機のデータフォルダ内に同じ名前のフォルダが2つ以上ある場合は、ファイルを転送できないことがあります。

## USB

本機とパソコンを指定のUSBケーブル（オプション品）で接続して、データ転送やデータ通信ができます。

### USBケーブルを使ってデータ転送をする

ソフトバンクユーティリティソフトを使って転送します。  
（左記）

### USBケーブルを使ってデータ通信をする

パソコンと本機を接続して、本機を外部モデムのように使ってインターネットに接続できます。

- ユーティリティソフトウェアを下記のURLよりダウンロードしてインストールする必要があります。  
<http://panasonic.jp/mobile/support/download/840p/index.html>

- 1 ユーティリティソフトウェア（840P）の「USBドライバ」と「Modem Wizard」をパソコンにダウンロードし、インストールする
- 2 パソコンと本機をUSBケーブルで接続する
  - USBケーブルの接続は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

### 3 「840P Modem Wizard」を起動し、通信設定を行う

- 「Modem Wizard」は、APNやダイヤルアップの設定が簡単に行えるツールです。  
設定方法、起動方法については、「Modem Wizard」のヘルプを参照してください。

#### お知らせ

- 携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用になる場合は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額になる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用されることをおすすめします。

## USBを使って充電する

パソコンと本機をUSBケーブルで接続すると本機を充電できます。その場合、次のことにご注意ください。

- パソコンの電源が切れている状態では充電できません。
- 当社指定のUSBケーブルを使用する場合は、本機の電源が切れている状態では充電できません。
- 急速充電器を使用した場合よりも充電時間が長くなり、フル充電に至らないことがあります。

## 簡易位置情報

インターネットを通じて本機の位置情報を測位し、送信することによってさまざまなコンテンツを利用できます。

- 簡易位置情報サービスは日本国内の3Gサービスエリア内でのみ利用できます。

### 緊急通報位置通知について

本機から緊急電話番号（110/119/118）への発信を行った場合は、ここでの設定にかかわらず、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知します。（☞P.2-3）

## 測位機能をロックする

《お買い上げ時》OFF

位置情報の測位機能を使用できないように設定できます。

メインメニューから **設定** ▶ **簡易位置情報** ▶ **測位機能ロック**

1 ON → 操作暗証番号を入力

## 位置情報を自動的に送信する

《お買い上げ時》毎回確認

位置情報の送信要求があったときに、自動的に送信するかどうかを設定します。

メインメニューから **設定** ▶ **簡易位置情報**  
▶ **位置情報送信設定**

1 項目を選択 → 操作暗証番号を入力